

資料2

第7回宮城県被災者
復興支援会議資料

「ちっちゃいビジネス開業応援塾」の取組み

<http://www.chiiki-biz-sendai.net/>

株式会社ゆいネット 稲葉雅子

「ちっちゃいビジネス開業応援塾」の背景

- 正式名称「地域ビジネス創出支援事業」
 - 「ちっちゃいビジネス開業応援塾」は、仙台市の「地域ビジネス創出支援事業」を受託したゆいネットが、講座開催の際に使用している名称。
 - リーマンショックのあと、なかなか仙台の景気も戻らなかったところに3.11の大震災が発生。雇用を生み出す立場である企業が多数被災。1人でも多くの起業者を育成し、雇用創出につなげる動きとする。
- 「ちっちゃいビジネス開業応援塾」の実績と予定
 - 平成23年度の実績：別冊参照ください
 - 平成24年度の実績：別冊参照ください

「ちっちゃいビジネス開業応援塾」の内容①

• 基本講座

- 1回90分×9回 の連続講座(前年度までは6回連続で開催)
- 9回の詳細内容⇒別添冊子参照
- 目的:「やりたい」と思っている内容を明確化、その内容がビジネス化できるのかどうかを考え、ビジネスプラン化していく

やりたいこと
は
どんなこと?

やりたいこと
が
ビジネスになる?

やりたいこと
の
5W1Hとは?

やりたいこと
の
事業計画とは?

「ちっちゃいビジネス開業応援塾」の内容②

- 先輩起業家の講座
 - すでに起業した人(先輩起業家)を招致して講演してもらう
 - 分野がかたよらないように、男女まんべんなく
 - すでに起業した人(先輩起業家)の現場を訪問してお話を伺う
 - 現地の状況を併せて見たほうが、よりわかりやすい場合
 - 被災地、過疎地での起業。店舗の立地条件などを実際に見る
- 広報につながる講座(ビジネス活用講座)
 - 1回90分 の単発講座(一部は2回連続で開催)
 - インターネットを活用:FB、Blog、HP、ユーストなど
 - 紙媒体を活用:冊子、チラシ作成など
- 士業の先生方との懇談会
 - 税理士、弁護士、司法書士などの士業の先生にお話を伺う
- その他、相談会、交流会など

講座の様子





Facebook講座



デジカメ講座



先輩起業家訪問講座





被災者対象の講座
あすと長町仮設住宅
「コミュニティサロンえんがわ」にて

受講生のご紹介

- 起業形態
 - 個人事業主
 - 物販店舗・飲食店(カフェなど)の開業
 - 講座開催・マッサージや整体などの施術ほかサービス業の開始
 - 株式会社、一般社団法人、LLP、NPOなど
- 業種、ビジネスの種類
 - ソーシャルビジネス
 - 障がい者の働く場づくり、ママの集まる場づくり
 - お掃除代行、買物代行
 - ネットビジネス
 - ネット販売
 - ホームページ制作

業務実績からの考察

- 受講後、起業に向けての1歩がなかなか踏み出せない
 - 想いが強すぎて、やりたいことがまとまらない
 - 座学で理解できるところはわかったが、実際に開店する具体的な手順や準備がわからない(TRY6チャレンジショップ)



- 自分が専門でやってきたこと以外のことには弱い
 - モノづくりをしている人は営業や広報の方法がわからない、など
- 被災地でのサポートの必要性
 - 仮設住宅でできたにわかコミュニティ
 - 震災直後の活動をサポートした団体が被災地から離れつつ

今後の取組み

• 被災地での起業支援

- 起業したい人向けの基本講座(短期間)の開催
- 応用編の講座は、参加者の意向をよく確認して実施する
- すでに起業した方についての個別相談や個別支援

基礎調査

ヒヤリング

基本講座

応用講座

個別支援

• 不足するノウハウを提供する場づくり

- 飲食店を実践の場とすることで、被災地の食材展開のきっかけにもつなげる

知識



技術



実践ノウハウ



被災地や県内の食材

課題について

- 小規模での起業による情報不足
 - ⇒情報収集のできる場所づくり
 - ⇒交流会など、情報交換のできる機会づくり
- 継続するためのノウハウ不足
 - ⇒士業など専門家とのパイプ役
 - ⇒先輩起業家とのつながりづくり
 - ⇒仕事につながる情報の提供
 - ⇒ステップアップするための、支援者連携

ご清聴ありがとうございました